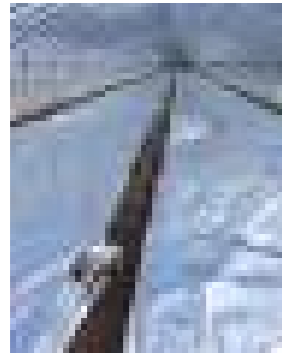


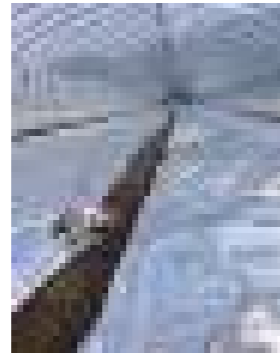
# 水稲育苗用被覆資材の効果確認試験

JAたきかわ

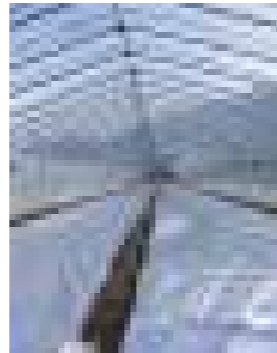
川田 能教



4月24日①



4月24日②



4月24日③

## 試験目的

太陽シートの効果確認

## 試験作物 及び品種

水稲

## 試験資材 及び数量(規格)

太陽シート(3.0m×50m) 1枚  
(3.0m×30m) 1枚

## 慣行資材

農ポリ(霜防止のため)

## 栽培方法

### 定植日

慣行区:4月中旬  
試験区:4月中旬

## 資材使用期間

4月中旬～4月下旬  
約10日間

## 試験区面積

240㎡



## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

換気無で育苗管理が実際にできたのでだいぶ楽になった。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

特に違いはなかったが、今年は温度があったため2日間で芽がでた。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 焼けの心配がない。農ポリだと温度管理が面倒であり、開け閉めが必要であったが試験品は必要なかった。

【問題点】: 片付け作業の優良事例が知りたい。

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

少し引っ掛けると切れ目が入るため強度は弱いと感じる。テープ補修を行った。

### (5)促成・抑制効果について

問題なし。今年は温暖であり、ボイラーも使用しなかった。

### (6)保温効果について

問題なし。

## モニター感想

作業性はよく、楽に育苗管理ができたため、非常に良い資材であった。しかし、片付け方法の正解がわからず、干してからジャバラに畳んで箱にしまったが次年度以降問題なく使用できるかが心配。また、コストを削減してくれれば尚良いと感じた。

### JA担当者の感想(赤平支所 松浦課長)

価格が高いことがネックと感じました。もう少し安くなれば手が出しやすいと思います。また、片付けの作業効率化を狙えるような事例や方法があればなお良い資材と感じました。

## 今後の使用について

継続して使用したい。